



謹んで半沢町長の逝去を悼む

国見町公民館長 佐藤 善次郎

氏は質性温厚にして慈悲の心深く、誠実高潔なる人格と周旋果敢なる意志とは、万人の崇敬...



今、新町建設の計画成り、その遂行の途上であり、益々氏の手腕力量に期待し、縦横なる活躍を要せられるとき、病あらたまつてにわかに他界せられたるの訃報に接し、痛恨の極みであり、今更ながら追慕の情に堪えないものである。

新年に思う

公民館長 佐藤 善次郎

幼幼より永劫の未来に亘り、時の流れを、一期を画して、ここに昭和三十五年の新春を迎えたい。

◎時間励行.....集会は定刻五分前に到着するよう

【第28号】 昭和35年1月15日発行 非売品 発行所 国見町公民館 発行人 佐藤 善次郎 編集人 鈴木 美一 印刷所 宇佐美印刷所

十二月 定例町議会 (申請負担契約締結) 十二月十四日町議 十二月十四日町議 十二月十四日町議

35年度完成

藤田小体育館建設

わが国見町では、各小中学校の講堂(屋内体育館)を兼ねた建坪二〇〇坪(一)が一通りできたのである。

新正一本化

新正月論争も一応結末がついた。藤田、小坂、大枝の三地区と、藤江野地区の藤江、塚野目は完全実施、大木戸地区と森山は個人的なものとする。



日本は国は平和国家として立上つたが、われわれは国際社会の中で、どういふ性格を持つべきか、はた又中立か、容共共、はた又中立か、

科学技術の躍進の時代は、同時に専門化と分業と合理化と大組織の時代である。われわれの産業も、地域社会も、職場も、家庭も、この方向に向かつて急転している。従つて各人はこのように変化の中で、各々の分野でこれに適應する技術と生活態度を学ぶことが必要である。

主婦Hさんの話 藤田、小坂、大枝は一〇〇パーセント 徳江、塚野目も完全切替え

主婦Gさんの話 藤田、小坂、大枝は一〇〇パーセント 徳江、塚野目も完全切替え

主婦Hさんの話 藤田、小坂、大枝は一〇〇パーセント 徳江、塚野目も完全切替え

